

2019年（令和元年）5月

足寄都市計画マスタープランの見直しを行っております

～ 都市マス見直し作業経過のお知らせ（その1） ～

◆足寄都市計画マスタープランとは

足寄都市計画マスタープラン（都市マス）は、これからのまちづくりの方針として土地利用をはじめ、道路、公園、下水道などの都市施設の整備等に関する計画を定めたものです。

◆見直しの目的

現在の都市マスは2010年度（平成22年度）に策定（見直し）を行いましたが、それから10年近くが経過し足寄町をとりまく社会経済情勢は大きく変化しております。またこの間、第6次総合計画や足寄町まち・ひと・しごと創生総合戦略などの計画が策定され、都市マスもこれからのまちづくりに対応した計画変更を行う必要が生じておりますので、2020年度（令和2年度）に見直しを行います。

◆見直し作業について

都市マス見直しに向けては町民の皆様の意見や関係機関との協議を踏まえ、検討委員会等で見直し策定作業を行います。また見直し内容については足寄町都市計画審議会に諮問・答申を行うとともに足寄町議会の議決により決定がされます。都市マス見直しについては、広報やホームページ等でのお知らせや、住民説明・パブリックコメント等で周知・意見照会を行ってまいります。

◆住民意向調査結果について

都市マス見直しを行うにあたり、住民の皆様にもまちづくりに対する意見をいただくため、昨年末に住民意向調査を実施させていただきました。皆様からたくさんのご意見を頂き、誠にありがとうございます。この度、その結果をまとめましたので、ご報告致します。

皆様から戴いたご意見やご提案は計画策定の参考とさせていただきます。また、都市マスに反映することが難しい事項等でも貴重なご意見を多く頂きましたので、今後の行政に活かして行きたいと考えております。ご協力いただいた皆様には心よりお礼申し上げます。

問合せ先

足寄町役場建設課建設室 管理・都市計画担当

TEL 0156-25-2141（内線374）

足寄町都市計画マスタープラン見直し

住民意向調査結果について

◆実施時期 平成30年11月13日から12月7日

◆調査対象 住民、学生、専門委員別に実施

(1) 住民アンケート

・都市計画区域内に居住する18歳以上の町民 1,000 名を対象とし無作為抽出

(2) 学生アンケート

・足寄中学校3年生53名、足寄高校1年生67名、3年生48名を対象

(3) 専門委員アンケート

・都市計画審議会委員、中心市街地活性化協議会委員など25名を対象

◆回収件数及び回収率

今回、一般対象のアンケート回収率は、第6次総合計画策定時の 23.87%を上回る 29.50%となっており、更に中高生、専門委員のご協力により全体で 39.21% (467 人)の方から回答を頂いており、年齢層、地域等の偏りも大きくないことから、信頼のおける調査結果が得られていると考えられます。

(1) 住民アンケート

・295件 29.5%

(2) 専門委員アンケート

・12件 48.0%

(3) 学生アンケート

・160件 96.5%

◆意向調査結果(概要)

「これからも住み続けるために必要となるもの」に対する回答

・一般では「銀行・郵便局」、「病院・診療所」、「コンビニ・日用品販売店」、「スーパー・薬局・ホームセンター」がぜったい必要と回答された方が 60%を超えて高くなっており、これは中高生でもほぼ同じ傾向となっていますが、これらに次いで「小学校・中学校・高校」、「飲食店」の回答が多くなっています。

「その他」の回答

・「公衆浴場・銭湯・温泉」との回答が比較的多くなっています。

「これからの道路・交通」について

- ・重要とやや重要を合わせて90%以上となる項目が多い中、「バリアフリー」、「違法駐車等がない」、「バス停(あしバス)」の3項目は重要との回答が40%程度と低くなっております。

「これからの公園・緑地」について

- ・「災害対応に活用できる公園」との回答が、重要とやや重要を合わせて80%をこえており、一番多い回答となっております。

「これからの居住環境対策」について

- ・防災関連が重要との回答が60%前後と高くなっており、環境美化、空き家・空き地対策は40%程度となっております。

「足寄町のまちづくり」について

- ・一般、中高生共にほぼ同じ傾向の選択となっており、中高生の方が、全体的に重要度が高くなっている。1番重要とされているのは「住み続けることに困らないまち」で80%程度が重要との回答となっております。
- ・「子育てがしやすいまち」が重要との回答は、一般より中高生の方が15%程度高い回答となっております。
- ・専門委員の回答では、「医療・福祉が充実したまち」が重要との回答が1番多く90%を超えており、一般、高校生の回答とは傾向が異なっております。

「市街地のあり方(市街地の規模)」について

- ・「コンパクトなまち」との回答が1番多く60%程度となっております。

中高生を対象とした設問～「まちづくりの進め方」について

- ・「足寄町役場・議会だけでなく、自治会や住民と協力し、さらに学生等の意見を取り入れて「まちづくり」を実施する。」との回答が1番多く80%程度となっており、まちづくりへの参加意欲が大変高いことが伺えます。

自由意見について

- ・「商業施設」、「就労の場」、「温泉施設」、「防災」、「空き家・空き地」などの意見が多く、中高生では、これに加えて、「娯楽施設」、「イベントの開催」に関する意見が多くなっております。